

「神が結び合わせたもの」

聖書箇所：マタイの福音書19章1~9節

【1】 真実な神に信頼して生きるとは

・映画「神は死んだのか」より：物事がうまくいかない状況下で、友人に“God is good? (主は素晴らしい?)”、“All the time? (どんな時も?)”と繰り返し問われる信仰者。その都度“God is good. (主は素晴らしい。)”、“All the time. (どんな時も。)”と、たとえそう実感できなくても、そうであると信じて返答する姿。その実践。

・使徒パウロがピリピのキリスト者に命じたこと：

「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。」(ピリピ 4:4)

【2】 理想と現実の間で

・パリサイ人の役割：聖書の教え／戒めを解釈し人々の生活に適用する

例)「離縁」の条件：

- ・夫が妻に「何か恥ずべきこと」(申命記 24:1~4)を見出せば離縁の宣言が可能。
- ・シャンマイ派とヒレル派

・パリサイ人から離縁の条件を尋ねられたイエスの回答

→アダムとエバの創造まで遡り、結婚の神聖性と尊厳性に言及

- ① 結婚は神が結び合わせるものである。
- ② 結婚によって夫と妻は(精神的にも肉体的にも)一体になる

【3】 神の創造の目的を知ること

・パリサイ人：「律法がどこまで許容しているか」と問うた。

・イエス：私たちが造られた神の創造の目的に注目するよう促した。

・「神の創造の目的」：エペソ 1:4~5

→神は私たちをご自分の子にしようと愛をもって定めておられた。

・神の愛を知り、「神に喜ばれる生き方をしたい」と願う者へ。

←自由を与えられるために召された私たち：ガラヤ 5:13

▷ 「主は良いお方!」「どんな時も!」と告白し、先に用意されている主の素晴らしいご計画を共に知る私たちでありたい。

